



2016年7月4日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6693-9571)

当社グループ会社(株)ジェネティックラボにおける 尿中ジアセチルスペルミン濃度測定受託サービス開始について

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボにおいて、本日より、研究者向けに尿サンプル中のジアセチルスペルミン濃度測定受託サービスを開始いたしますので、お知らせいたします。

【概要】

がん患者において、尿中ポリアミン※1排泄量が増加することが、1971年に南フロリダ大学薬理学の教授であった Russel によって最初に報告されて以来、がんとポリアミンとの関連性を示した多くの研究が行われています。また、尿中の総ポリアミン量測定キットが既に開発され一般生化学検査として利用されています。

近年、ポリアミンの1種である N1,N12-ジアセチルスペルミン※2が尿中にわずかに排泄され、総ポリアミンと比較してがん病態の変化をより顕著に示す可能性が報告されています。

本サービスでは、当社が開発した N1,N12-ジアセチルスペルミンに特異的な抗体を用いた競合 ELISA 法に基づくキット（研究用試薬）を用いて、尿中のジアセチルスペルミン量を測定します。

また、測定結果は、同じ検体を用いて測定された尿中クレアチニン※3濃度により補正を行います。この補正によって、尿量による変動を排除し、高い信頼性で測定値を算出することが可能になります。

当社のジアセチルスペルミン抗体関連ビジネス進捗状況は、ライセンスアウト先の日本国内診断薬メーカーおよび中国診断薬メーカーにて、体外診断薬として上市に向け進行しております。

このたびの本測定サービスは、尿中ジアセチルスペルミンのがん診断薬としての有用性の検討、またがん検診時の新たな測定項目としての追加につながるものと期待されます。

なお、本件による2017年3月期の業績への影響は軽微です。しかしながら、中長期的な観点から業績拡大につなげてまいります。

◆ご参考

※1 ポリアミン

第一級アミノ基が3つ以上結合した直鎖脂肪族炭化水素の総称です。ウイルスからヒトまで、あらゆる生体中に含まれ、全ての細胞内で作られる物質で細胞の増殖に深く関連しており、細胞分裂がさかんな組織ほど高濃度に存在します。

※2 ジアセチルスペルミン

ジアセチルスペルミンは、ヒトの体内に存在するポリアミンと総称される物質の一種です。ポリアミンと総称される成分の尿中排泄量は、以前より癌と関係のあることが示唆されてきました。その中でも、ジアセチルスペルミンは、他のポリアミンと比べ、その尿中排泄量と癌との関連性が特に

高いことが最近の研究より明らかになっております。

※3 クレアチニン

クレアチニンは筋肉内で、クレアチン及びクレアチンリン酸から非酵素的に産生される最終代謝物で、血液を介して腎臓に運ばれた後、尿中に排泄されます。健常人では体内のクレアチンが一定量毎日排泄されることから、尿中クレアチニン排泄量から他の尿中物質の濃度や検査結果の補正に用いられます。

◆上記リリースに関連する当社製品

- ・ [尿中ジアセチルスベルミン測定用 ELISA キット](#)
- ・ [尿中クレアチニン測定用 ELISA キット](#)

以上